

体内の放射性物質



体重60kgの場合

| | | |
|---------|----|---------|
| カリウム40 | ※1 | 4,000Bq |
| 炭素14 | ※2 | 2,500Bq |
| ルビジウム87 | ※1 | 500Bq |
| トリチウム | ※2 | 100Bq |
| 鉛・ポロニウム | ※3 | 20Bq |

- ※1 地球起源の核種
- ※2 宇宙線起源のN-14等由来の核種
- ※3 地球起源ウラン系列の核種

食品中の放射性物質（カリウム40）の濃度



| | | | |
|------------|------------|-------------|--------|
| 米 30 | 牛乳 50 | 牛肉 100 | 魚 100 |
| ドライミルク 200 | ほうれん草 200 | ポテトチップス 400 | お茶 600 |
| 干しいたけ 700 | 干し昆布 2,000 | (Bq/kg) | |

Bq : ベクレル Bq/kg : ベクレル/キログラム

出典 : (公財) 原子力安全研究協会「生活環境放射線データに関する研究」(1983年)より作成

カリウムは生物に必要な元素であり、ほとんどの食品に含まれています。カリウムの0.01%は放射性カリウムであるため、ほとんどの食品には放射性カリウムが含まれています。放射性カリウムは β （ベータ）線と γ （ガンマ）線を放出するため、食品を摂取することで内部被ばくをすることになります（上巻P74「目で見る放射線」）。体内のカリウム濃度は一定になるように保たれているため、食品のカリウムからの被ばく量は体格によって決まり、食生活による影響は受けないと考えられています（上巻P8「自然由来・人工由来」）。

乾物は、製品の状態で分析された値であり、乾燥による濃度上昇の効果も含まれます。例えば、乾燥により重量が10分の1になれば、濃度は10倍になります。

本資料への収録日：2013年3月31日

改訂日：2018年2月28日